

令和3年度

第2回 大磯町総合教育会議

教員の働き方改革について

令和3年12月21日

大磯町 政策総務部 政策課

**令和3年度
第1回 総合教育会議**

～前回の振り返り～

令和3年度 第1回総合教育会議

【テーマ】

『コロナ禍における 学校教育の在り方について』

【背景】

- 学校の休業、行事等の中止・変更
- 教育のニューノーマルへの適応

コロナ禍でも学びを止めないために！

第1回総合教育会議の協議結果

☆ 協議における委員皆さんからの意見

1. コミュニティ・スクールのスピード感を持った実現

- ・子どもたちが厳しい社会に出ていくため
- ・教員の負担を増やさず、GIGAスクール構想を加速
など



学校と地域との連携が必要

第1回総合教育会議の協議結果

☆ 協議における委員皆さんからの意見

2. コロナ禍における若者の扱い所

- ・人と会うことが難しい世の中
- ・引きこもってしまう若者への向き合い方

など



**コロナ禍における人と人との向き合い方を
考えていく必要性**

第1回総合教育会議の協議結果

☆ 協議における委員皆さんからの意見

3. オンライン授業のやり方や 子どもたちへの精神的ケア

- ・オンライン授業の定期的な実施
(いざという時のシミュレーション)
- ・子どもたちにとっての対面の大切さ
など



子どもたちへの精神的ケアとフォロー

第1回総合教育会議の協議結果

☆ 協議における委員皆さんからの意見

4. タブレット端末を使った 大磯ならではの学び方

- ・教育で人が呼べるようなまちづくり
- ・タブレット端末を文房具のように使ってもらう
など



自ら学ぶという環境を！

第1回総合教育会議の協議結果

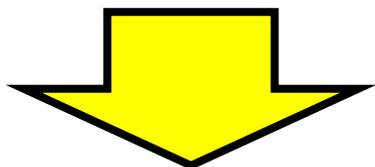
☆その他の意見

- オンライン授業の導入もあるが、基本的には対面が基本だと思う。
- ニューノーマルな教育への対応として、ICT支援員の配置、環境設定の確保などが必要。
- ICT教育は親の関心も高く、まちの魅力度を測る項目にもなっている。
- コロナ禍だからこそ発想を転換していくことを受け止め、それをやっていくための議論をしていく必要がある。

令和3年度 第2回総合教育会議

第2回総合教育会議のテーマ

教員の働き方改革について
～教育のデジタル化に対応するには～



教育現場における
デジタル化への対応

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

||

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの
視点からの授業改善

目指すべき次世代の学校・教育現場

◆これからの教員の働き方！

◆個別に最適で効果的な学びや支援

（個々の子供の状況を客観的・継続的に把握）

◆学びにおける時間・距離などの制約を取り払う

（オンライン授業などの実施）

◆校務の効率化

（学校における事務を迅速かつ便利、効率的に）

◆学びの知見の共有や生成

（教師の経験知と科学的視点のベストミックス）

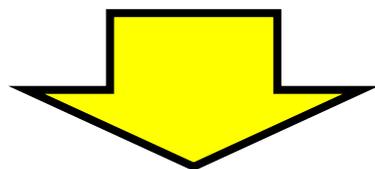
子どもたちに どんな大人になってもらいたいのか

ICT環境の整備は手段であり目的ではない。

子どもたちが豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として、予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための資質・能力を一層確実に育成していくことが必要であり、その際、子供たちがICTを適切・安全に使いこなすことができるようネットテラシーなど情報活用能力を育成していくことも必要。

【テーマ】

教員の働き方改革について
～教育のデジタル化に対応するには～



教育現場における
デジタル化への対応

タブレット端末の活用で、**教員**の働き方は？

- ・ スケジュール管理、各種調査、やりとりの記録など端末を活用することで業務の効率化につながる

- ・ ICT活用により教材作成等の準備にかかる時間や労力の削減につながる

- ・ 保護者との情報伝達が効率化される



効率化によってできた時間の活用は？

※ もともと教員の長時間労働の問題がある

協議事項

◆ICTを活用した教育の導入により、今後の教員に何ができるのか？

I ICT活用指導力の向上のため研修等強化？

II 効率化によりできた時間を子どもたちへの指導等？

など

協議事項

◆ICTを活用した教育の導入により、今後の教員に何ができるのか？

Ⅲ 個々の子供に応じたよりきめ細かな指導の実践？

Ⅳ スポーツや文化においてもオンラインを利用した専門家の指導の導入？

など

教員の働き方改革について ～教育のデジタル化に対応するには～

